



期待を超えて、未来へ。

Beyond OSP



未来につなげる
パッケージ
SUSTAINABLE PACKAGE



製品サイトはこちら！

【クラフトリグニンとは】

木材からパルプ化する際に発生する黒液に含まれている成分。サーマル紙の材料である顕色剤の原料として活用することで、アップサイクル、環境負荷低減に貢献。

それ、“クラフトリグニン”で解決。

Treeloop Thermal™



Point 01 石油由来の顕色剤使用削減で環境負荷を低減



Point 02 ナチュラルな風合いで自然由来商品との相性◎



Point 03 インクリボン不使用でコスト、廃棄物を削減



OSP 大阪シーリング印刷株式会社



公式サイトへ

シール・パッケージについてのご相談、お見積りは大阪シーリング印刷の公式ホームページよりお問い合わせください。

プリオ「大阪の印刷」2026 6月号

2026年（令和8年）6月1日発行
第72巻 第6号 通巻第813号

発行所／大阪府印刷工業組合
大阪市都島区中野町4-4-2

発行人／高本 隆彦

電話 06-6606-3000（代）

定価 330円（税込）

PRINTING OF OSAKA

P R I ・ O

プリオ

2026
6
No.813



インク缶に
サボテンを植える

鈴木美術印刷さんで
インク缶を使い続ける取り組みについて
お聞きしました！



発行元（編集部）



大阪府印刷工業組合

〒534-0027
大阪市都島区中野町4-4-2

字 守 在 由

文字とつながる。
世界がひろがる。



Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能

Select8

24書体まで利用可能

Select24

上限なく書体を選択可能

スタンダードプラン

Webフォント

サイト規模やプロジェクト数などに合わせて選べるプラン

Webフォント / Webフォント Lite / Webフォント Pro



morisawafonts.com

デジタルとフィジカル

おかげさまをもちまして、大阪府印刷工業組合の理事長を拝命し、1期2年の任期を無事に務めさせていただくことができました。組合員の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援とご協力に、心より御礼申し上げます。

昨年、大阪府印刷工業組合は設立70周年という大きな節目を迎えました。5月には70周年記念式典を開催し、さらに10月には記念事業として「PRINT LOVERS OSAKA 2025」を実施いたしました。多くの皆様のお力添えにより成功裡に終えることができましたこと、改めて感謝申し上げます。

皆様のお手元にも「PRINT LOVERS OSAKA 2025」の作品集が届いていることと存じます。「“伝える印刷”から“表現する印刷”へ」をテーマに、多彩な特殊印刷技術と印刷の可能性を一冊に凝縮いたしました。ぜひ愛蔵いただくとともに、営業や提案の場での特殊印刷の見本帳としてもご活用いただければ幸いです。

さて、世界情勢は依然として不安定であり、中東情勢の緊迫化をはじめ、エネルギー価格や原材料価格の高騰、資材供給の不安定化など、私たち印刷業界にも大きな影響が及んでいます。しかし一方で、こうした環境変化は、業界の在り方を見直し、新たな価値を創造する機会でもあると感じています。

日本は過去のオイルショックを教訓に、石油の備蓄をはじめ、省エネルギー化や安定供給体制の整備を進めてきました。危機を経験するたびに社会はアップデートし、新しい仕組みを築いてきたのだと思います。

私たち印刷業界もまた、この変化の中で「適正価格」の重要性を改めて共有し、価値に見合った価格形成へ踏み出す時期に来ているのではないのでしょうか。

生成AIの発展によって、あらためて“手に取れる価値”や“リアルな体験”への注目も高まっています。印刷は単なる情報伝達ではなく、人の感情を動かし、記憶に残る「表現」のフィジカルメディアとして、これからさらに存在感を発揮していくものと確信しております。

今年も引き続き理事長を拝命することとなりました。大阪の印刷業界の未来のため、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、組合活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



大阪府印刷工業組合 理事長
大興印刷(株) 代表取締役

高本 隆彦 TAKAMOTO TAKAHIRO

PRIO
PROLOGUE
— KANTOUGEN —

6

JUN 2026

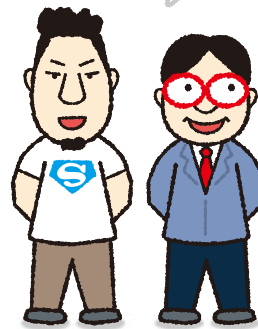


教えて！ 赤メガネ先生

白石封筒工業(株) 代表取締役
大阪府印刷工業組合
サステナビリティ委員長

白石 陽一
Shiraishi Youichi

「21世紀のいい会社」って
どんな会社ですか？



イシューキュレーター
特定非営利活動法人
チュラキューブ 代表理事
大阪国際工科専門職大学
工科学部 准教授

中川 悠
Nakagawa Haruka

Vol.24 鈴木美術印刷株式会社 鈴木社長にインタビュー

鈴木美術印刷で、 インク缶にサボテンを植える 処分するインク缶が、サボテンの家に

前号では「咲くやこの花館」を訪ね、サボテンの生命力と印刷業界の新しい循環について学んだ白石さんと赤メガネ先生。
今回はその続編として、鈴木美術印刷株式会社さんへ。
毎月、使い終わったインクの空き缶をサステナブルに使い続けるため、サボテンを植える取り組みに協力してくださっている鈴木裕香社長に、お話を伺いました。



鈴木美術印刷株式会社 代表取締役社長
鈴木 裕香さん
Suzuki Hiroka

小さくても、こだわりのあるものを。 鈴木美術印刷らしい仕事

鈴木美術印刷株式会社(以下、鈴木美術印刷)は、1961年創業、1968年設立の印刷会社です。現在はカラー印刷や特色印刷を中心に、取扱説明書やお品書き、リーフレットなど、比較的小さな印刷物を製造。大きな印刷物を大量に刷るというより、サイズは小さくても少しこだわりがあり、細かな仕上がりが求められる印刷物を得意分野としています。

そのようななか、私たちが大切にしているのは、お客様の情報伝達ニーズを、最適

な形で実現すること。日々、感性と技術力を磨き、考え、行動しながら、常に必要とされるオンリーワン企業であり続けたいと思っています。

ところで「美術印刷」という名前ですが、最初にお話したように美術作品を印刷しているわけではありません。商品に関わる印刷物や、見た目の印象が大切になるものを手がけることが多いので、そこは会社名にも少しつながっているのかもかもしれませんね。

会社の取り組みを見直す、CSR認証は健康診断のようなもの

環境については、以前から必要性を感じて、全日本印刷工業組合連合会認証の環境推進工場認証を受けていました。CSRワンスター認証をきっかけにJPPS、日本印刷産業連合会のグリーンプリンティング認証を取得しました。CSR認証に取り組んで感じたのは、認証を受けるというこ

とは、会社の健康診断のようなものだということ。会社を続けていくうえで何が必要なのか、どこができていて、どこが弱いのか。ひとつひとつ確認することで、これから強化すべき部分も見えてきました。また、企業活動を通して社員の力を引き出すことも、当社が大切にしていること

のひとつです。仕事のなかでやりがいや成長感を得られるようにすること。そこでMUDやオフセット印刷技能検定に挑戦してもらうように。それも会社の大切な役割だと思っています。そのうえで、社会に貢献できる企業を目指していきたいですね。



コラム 後日、鈴木社長からうれしいお話が届きました。強い雨が降った翌日、インク缶に植えたサボテンが、誰かの手で雨の当たらない場所へ移され、次の日には元の場所に戻されていたそうです。「誰かが気を利かせてくれたのだと知って、うれしかったです」と鈴木社長。その小さな行動から、鈴木美術印刷の新しい循環が、静かに根を張り始めていることが伝わってきます。

処分するインク缶は1か月に約200缶。手間はかかっても、できることから

印刷の現場では、インクの空き缶がどうしても出ます。当社では月に約200缶の空き缶が出るんです。印刷では、カラーのインクだけでなく、特色といって、指定された色を表現するためのインクも使うため、空き缶も自然と増えていきます。

使い終わった缶にインクが残っていると、そのまま簡単に処理できるわけではありません。以前は、残インクが残った缶を

産業廃棄物として処理していた缶の重量分などの費用もかかっていた。

そこで今は、缶に残ったインクをできるだけ取り除いて、ドラム缶にまとめインクと缶を分けて回収してもらうようにしています。もちろん、手間はかかります。社員からすると、ちょっと面倒だなと思う作業かもしれませんが。でも、その方が環境には悪くないかなと思って…。大きなことはでき

なくても、どう向き合うか。それは印刷会社として考えていかないといけないことだと思っています。

そんな使い終わったインク缶を見て、白石くんが「ここにサボテンを植えたらどうですか」と提案してくれたことで、捨てるはずだった缶が、サボテンの器にもなるかもしれない。なるほど、そういう使い方もあるんだなと思いました。

処分するのではなく、育てるものになるおもしろさ

インクの空き缶にサボテンを植えるというのは、すごく大きなリサイクル事業というわけではありませんが、ただ処分するものとして見るのではなく、何かに使えないかと考えてみる。そこから、今回のようにサボテンを植えることで、空き缶が植木

鉢に。工場や会社の中に置いておけば、社員の目にも入りますし、水をあげたり、日当たりを気にしたりする人も出てくるかもしれません。サボテンは強い植物だと思われていますが、水をあげすぎると腐ってしまうこと

もあるそうですし、日当たりも必要です。放っておけばいいわけでもなく、構いすぎてもいけない。そういう距離感も、なんだか会社や人を育てることに似ているような気がします。

日々の小さな積み重ねが、会社も人も育てていく

実は私自身、もともと会社を継ぐつもりはありませんでした。けれど先代の頃から支えてくれていた人や、現場のことをよく知る社員に教えてもらいながら、ここまで続

けてきました。大変な時期もありましたが、いろんな積み重ねで、会社は少しずつ形を変えながら続いていくのだと思います。インク缶に植えたサボテンも、最初は

小さなことかもしれませんが、でも、そこから社員が何かを感じたり、自分たちの仕事と環境とのつながりを少し意識したりしてくれたら、それはとてもいいことです。

月200缶もの空き缶が出ると聞いて、正直、驚きました。でも、それをただ捨てるのではなく、インクと缶を分け、缶を活かし、さらに僕が提案したサボテンの鉢にしてもらえたことが、とてもうれしかったです。循環って、大きな言葉ではなく、こういう小さなことから始まるんですね。



見学で心に残ったのは、社員さん一人ひとりに「ありがとう」と声をかける鈴木社長の温かなお姿です。お父様から代を継ぎ、重ねてこられた経験の厚みがそこに宿っていますね。捨てられるはずのインク缶に命を吹き込む新しい実践。そのひたむきな積み重ねにも、人と社会を幸せにする「いい会社」の姿が、鮮やかに描き出されているのですね。



紙を知り、紙で遊ぶ。

ペーパーサミット

PAPER SUMMIT JAPAN

紙のある暮らしをもっと豊かに
「紙とどこまでも」

TALK
MARKET
FACTORY
GALLERY

最新の情報は
コチラから



2026.07.24 - 25

FRI 10:00-18:00 SAT 10:00-17:00

東京都立産業貿易センター 浜松町館 3F

主催：全日本印刷工業組合連合会 / 日本洋紙板紙卸商業組合 協力：日本製紙連合会
後援：経済産業省 / 東京都 / 一般社団法人 日本印刷産業連合会

MUDフェア 同時開催

MUDフェアは、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが
見やすく、分かりやすい「メディア・ユニバーサルデザイン
(MUD)」を紹介・体験するイベントです。

SNSでも情報発信中！



フォローしてね！

楽しむ

MARKET

ペーパーグッズマルシェ




大阪で開催されたペーパーサミット(2024)の様子

紙から生まれた、魅力的な商品に出会い楽しんでみる。
全国の印刷会社が開発したオリジナル商品や、紙ならではの風合い
や工夫が詰まったアイテムやサービスを販売します。
見て楽しく、選んでうれしいマルシェです。

感じる

GALLERY

ペーパー アートギャラリー





紙わざ大賞
受賞作品展示

全国カレンダー展
受賞作品展示

全国カタログ展
受賞作品展示




PRINT LOVERS OSAKA 2025

造本装幀コンクール
受賞作品展示

紙と印刷がひらく、表現の世界を味わい感じてみる。
紙や印刷にまつわる作品を展示し、素材としての紙の美しさや表現の
豊かさを紹介します。眺めるだけでも、新しい発見に出会うことができる
ギャラリーです。

遊ぶ

FACTORY

ペーパー ワークショップ

小学館 ペーパーラボ




紙のプール

紙遊び体験




田中きとし MAKE 道場

三ツ沢グッチ 紙芝居

見て終わりじゃない、紙にふれて遊んでみる。
折る、刷る、つくる。紙や印刷の面白さを、手を動かしながら体験で
きるワークショップです。子どもから大人まで、紙の魅力を身近に感じて
いただけます。

同時開催

「MUDフェア」 「環境にやさしい紙」

知る

会場では
紙でできた人工芝「ペーパーターフ」
の感触も ご体験いただけます♪

紙を知り、紙で遊ぶ。

ペーパーサミット

PAPER SUMMIT JAPAN



2026年度 大青協が新体制で始動!!



4月7日(火)大阪印刷会館で、新体制となって初の大青協定例会が開催されました。冒頭、黒木議長は「強固なつながりを、次代へつなぐ未来への架け橋に」と今期のテーマを掲げ、「世代や業態を超えた知恵と技術の共有」「伝統の継承と次世代の経営」「社会に向けて大阪の印刷業界の価値向上」を3つの柱として自分が架け橋になりたいと意気込みを語りました。続いて3人の副議長が自身の担当する事業について説明し、キックオフコンベンション、近畿ブロック協議会、新入会員拡充の各方針をメンバーと共有しました。

黒木昭博
議長



グループディスカッション 「印刷業界の今後について」

印刷業界は従来の受注産業から、製造業としての高度なサービス業へと変化している過渡期にあります。今回の定例会では「脱受注産業」と「高付加価値化」を念頭に置き、未来逆算型(バックキャスト)の手法で10年後の理想の姿から逆算して3つのテーマに沿ってグループディスカッションを行いました。

テーマ1 「10年後の自分たちの会社が最高の状態だとしたら何をしているか」

- キャラクターグッズなど、やりたいことでお金を稼ぎたい。その仕組みを構築している。
- さまざまな人が使うプラットフォームを作りたい。それを使わないと困る人がいて、使わざるを得ない状況で安定した収益を得ている。
- 国内の市場には限界がある。海外に目を向けて販路を広げている。
- AIを使って、省力化や効率化にとどまらず顧客の課題を解決するサービスで収益化している。
- 自社工場を増やしていき、全国各地に多数の製造拠点を作っている。
- 情報を伝える印刷物は受注・印刷・加工・発送までを機械が自動で行う時代が来る。
- 印刷物は体験価値が重要。紙でしかできない商品の開発に注力している。
- ICチップを内蔵した印刷物を製造している。



テーマ2 「その時、現在の印刷機は何を刷っているか。あるいは別の機械になっているのか」

- より特殊な印刷に特化した印刷機や、特殊な加工に特化した加工機に変わっている。
- オペレーターがいなくてもAIが印刷できる機械になっている。
- ほとんどがデジタル機に変わるが、オフセット機はなくなることはない。
- オフセット機は減るがなくなることはない。機械もそれを扱う職人も貴重な存在となっている。



各ディスカッションの
発表者3名



恒元宏信
副議長



和田雅樹
副議長



佐藤哲也
副議長

テーマ3 「理想に近づくために明日からやめることは何か」

- ひとつの業界に特化して他の業界の仕事をやめる。業界特化で尖っていくことで、その業界で絶大な信頼と安心感を獲得して他社に負けない強みを生む。
- 業界特化ではなく、得意な領域に特化していく。自社を成長させるためにはどちらかに特化する必要がある。
- 属人化をやめる。製造でも営業でもベテランが教え、新人が育つ仕組みづくり。
- 受け身の姿勢をやめる。自分から動いていく。
- 値下げをやめる。提供している付加価値に対して適切な価格設定をする。
- 健康に悪いことをやめる。10年後に健康で働けていないと意味がない。



みんなで真剣に
ディスカッション!



最後は楽しくカンパーイ!



勉強の後はお楽しみの懇親会へ

白熱した議論を終え定例会が閉会すると、場所を京橋に移して懇親会へ。「わらじや京橋店」でおいしい九州料理を堪能しながら、組合での活動やプライベートの話題で盛り上がり笑顔の絶えないひと時となりました。「楽しい」ということが大切で、楽しみながら学び人の輪を広げる大青協の活動を今後ともご支援よろしくお願いいたします。





ペーパーサミット2026

実行委員インタビュー&振り返り

ペーパーサミット実行委員として活躍するメンバーへのインタビュー第4回目は、ペーパーサミット2023から参加されている、田中手帳株式会社の田中尚寛社長と細川雅史さんです。

田中手帳株式会社

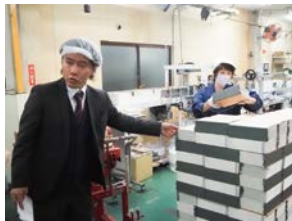
大阪市住之江区平林に本社・工場を持つ田中手帳株式会社（以降、田中手帳）は、現社長の祖父である田中由太郎さんが戦前にノート製造工場働いたことをきっかけに、昭和12年に浪速区芦原橋にて田中手帳製造所として創業しました。昭和45年に法人化し、平成24年に現社長が代表取締役就任。長い歴史を持つ会社です。30年前、まだ製本業界にワンストップという概念がなかった時代から、一貫通貫の製造体制を構築し、大手メーカーからの受注を獲得。さらに1992年には、先代がドイツの展示会で見つけたインデックス加工機を導入し、日本のみならず海外からも発注を受けるなど、手帳業界を牽引してきました。



ペーパーサミットとの出会い

田中社長は、ペーパーサミット実行委員長のリリーダシップに惹かれ、第2回から運営に参加されています。その後、大阪府製本工業組合の専務理事としての役割もあり、第3回からは社員の細川さんが委員会に加わりました。——田中社長は今期より同組合の理事長に就任されています——現在は細川さんが社長に代わって、精力的に活動されています。

実行委員・細川さん



実行委員には経営者が多く、社員として参加している細川さんは、日々の業務と両立しながら積極的に活動されています。もともと印刷会社で約12年間、生産管理として勤務していた細川さんは、手帳の特殊加工に魅力を感じ、2016年に田中手帳へ転職。当初は希望とは異なる営業職に就いたものの、商品開発に関われる面白さや、人とのつながりに楽しさを覚えたといいます。

実行委員への想い

「大変だけど、楽しいから続けている」と語る細川さん。「印刷業界の人間が、新しいことへ挑戦している」ということや「息子たちに誇れる業界にしたい」という志をもって活動されています。いつも実直に一生懸命取り組む細川さんの姿は、委員メンバーにも良い影響を与えています。田中社長、細川さん、お忙しい中ありがとうございました。

コラボ商品開発「ペーパーバック」

今回、NANIWA PEN SHOWとペーパーサミットのコラボ商品として登場した「ペーパーバック」。その製本と小口印刷を担っているのが田中手帳です。実行委員メンバーによる表紙デザインや特殊印刷が加わり、ペーパーサミットならではのこだわりが詰まった商品となりました。



田中手帳株式会社
<https://www.tanakatechou.co.jp/>

インタビュー全文は
ホームページで公開中です



ペーパーサミット2026終了！

—— 開催報告は次回のプリオでお届けします！お楽しみに♪

ペーパーサミット2026 実行委員会 振り返り

実行委員会では、出店者・来場者・運営など、イベントに関わるすべての人が楽しめる場となるよう取り組んできました。毎月の実行委員会や、チームリーダーによる統括ミーティングに加え、各チームでも随時打ち合わせを実施。グループLINEでも活発な意見交換が行われました。ここでは主な活動をご紹介します。（チーム活動は除く）

一 活動記録

・2025年

- 4月 ・実行委員会
- 5月 ・統括ミーティング ・実行委員会
- 6月 ・統括ミーティング ・実行委員会
- 7月 ・統括ミーティング ・実行委員会
- 8月 ・統括ミーティング ・実行委員会



- 9月 ・統括ミーティング ・マッチング説明会
・実行委員会 ・会場見学会
- 10月 ・統括ミーティング ・マッチング懇親会
・実行委員会
・PRINT LOVERS OSAKA 2025

- 11月 ・統括ミーティング×2 ・実行委員会
・工場見学会
- 12月 ・実行委員会



・2026年

- 1月 ・統括ミーティング ・実行委員会
- 2月 ・統括ミーティング ・実行委員会
- 3月 ・統括ミーティング ・実行委員会
- 4月 ・統括ミーティング ・実行委員会
・スタッフTプリント ・出店者説明会
- 5月 ・統括ミーティング ・福袋準備
・実行委員会 ・配布物準備 ・本番

こよみのはなし

6
June

水無月で締めくくる

② 〇26年（令和8年）
新暦6月水無月。

雨の多いこの時季に「水が無い月」と思われますが、「無」には連体助詞「の」の意味があり、「田に水を引く月」から付けられたと言われています。二十四節気「芒種」（6日）、「夏至」（21日）、雑節「入梅」（11日）と夏に向かいます。「芒種」とは、麦を刈り、芒（のぎ）を持ったイネ科植物の種をまく時季。種をまけば、「芒種」後の最初の壬（みず）のえの日（5日目頃）の「入梅」を目安に、田植えの時期を決めていくなど、細かな初夏の農事暦が続きます。「入梅」が過ぎれば梅雨の季節。かびが生えやすいことから、「黴（かび）雨」と書いて「ばい雨」と読んだり、「つゆ」と呼ぶのは「露」からきたりと、古人はその季節の変化を生活や仕事にうまく取り込んでいくことを楽しんでいたかのようです。現代人よりずっと気持ちの余裕があったのでしょうか。

なにかと余裕がない現代人には、このジメジメした季節を乗り越えるために、ネバネバ野菜は胃を強くすると言われます。納豆嫌いの関西人の私はオクラの粘りも胃に優しく、体のほてりを押さえ、夏バテを防止してくれる野菜のひとつなの

で、好んで頂くようにしています。また、体をクールダウンさせると言っても、冷たいものばかりは逆効果。お酒好きの方々も、「冷酒（れいしゅ・冷蔵されたお酒）」ではなく、「冷酒（ひやざけ・常温のお酒）」の方がいいようです。同じ漢字の音訓読みを変えただけで、意味が変わり、捉え方も変わるといふ日本語の奥深さには改めて感動します。

この時季は夜になれば、「螢」の明かりが目癒してくれそうです。螢は湿気で蒸れて腐りかけた草の下で、明かりを灯し始めるそうです。この光源の螢の存在が謎めいていた古代には腐った草が化けたものだと思われていたとか。螢は「火垂る」や「火照る」が語源で、短い命の中、精一杯生きた証のような柔らかな光を放ち、神秘的です。この組合でも馴染み深かった太閤園の「ほたるのタペ」を少し懐かしく思い出します。

そして、1年の折り返しの6月末日、神社に設置された大きな茅の輪（ちのわ）をくぐり、半年の罪や穢れを祓い、残り半年の無病息災を祈願する「夏越の祓（なごしのはらえ）」が行われます。特に京都では、この日には「水無月」という和菓子を頂く習慣があります。半透明の白い外郎生地地に邪気を祓う小豆を



第一株式会社 代表取締役
笥 順子 Kakehi Nobuko

のせた三角形のお菓子です。昔、氷は貴重品で貴族の食べ物とされ、庶民は氷の形に似た菓子を食べして邪気払いを行いました。「モノがなくても足るを知り、質素に暮らす」——その心もまた、穢れを祓っていたのかも知れません。今に通じる知恵です。最後に、約2年間、「こよみのはなし」にお付き合いありがとうございました。不安な社会情勢の中、たまには「こよみのはなし」で息抜きしていただけていたなら幸いです。



6月の色

紫陽花青 あじさいあお

ほんのりとくすみがかった明るい青紫色です。土の酸度によって花の色を様々に変える紫陽花ですが、優しい青色の花は人々の心を癒します。雨続きの日々を明るく彩ってくれる色合いに、思わず晴れやかな気持ちになりますね。

presented by 暦生活 KOKORO SEIRATSU

令和8年度 大印工組 通常総代会

主催：大阪府印刷工業組合



芳武議長



高本理事長



大阪府商工労働部 勝見室長



近畿経済産業局産業部 鈴木室長



谷川衆議院議員



宗清衆議院議員



正本幹事



山本副理事長



【通常総代会】

大阪府印刷工業組合の令和8年度通常総代会が5月15日(金)午後4時から、中央区のホテル日航大阪「7階フォントナ」で開かれ、令和7年度事業報告・決算報告、令和8年度事業計画案・収支予算案が審議・承認された。

午後4時に宮田事務局課長の司会で開会し、総代定数40名中、本人出席10名、委任状による書面出席22名、計32名の出席で過半数に達しており適法に成立すると報告された。

最初に高本隆彦理事長から挨拶があり、

次いで議長の選任に移り、「司会者一任」の声により天親支部総代の芳武努氏(芳武印刷(株)社長)が議長に就任して議事進行を行った。

▽第1号議案／令和7年度事業報告、決算報告および剰余金処分(案)ならびに共助会収支決算承認の件

▽第2号議案／令和8年度事業計画(案)および収支予算(案)ならびに経費の賦課徴収方法承認の件

▽第3号議案／定款一部変更承認の件

▽第4号議案／委員会規約一部変更承認の件

認の件

▽第5号議案／令和8年・9年度理事・監事選任の件

議長が第1号～第5号議案に対する意見の有無・賛否をそれぞれに諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決された。また、退任役員3名に対して高本理事長から感謝状が贈呈された。

【臨時理事会】

会場を「藤の間」に移して令和8年・9年度の新理事による臨時理事会が開かれた。平塚事務局長が理事定数43名中、本人出席37名で適法で成立していることを報告し、理事長推薦委員会の座長である生栄支部の松原利行支部長を議長に選出、議事が進行された。

第1号議案／理事長選任の件は、理事長推薦委員会より高本隆彦氏(理事長)を推薦すると報告し全員異議なく承認され、松原議長が「議長の責を解かせていただく」と述べた。次いで、高本理事長が議

長となり、第2号議案／副理事長・専務理事・常務理事の選任の件、第3号議案／顧問・相談役・参与委嘱者承認の件について説明を行い原案どおり承認され、臨時理事会を閉会。総代会の会場に戻り以上を報告し総代会のすべての議事を終え、新副理事長・専務理事・常務理事より挨拶があり、午後5時10分に通常総代会が終了した。

【交流会】

通常総代会に続いて、午後6時からは組合員交流会がスタート。高本理事長か

ら挨拶があり、吉村洋文大阪府知事らの祝電・メッセージが披露されたあと、来賓紹介が行われた。その後、宗清皇一衆議院議員の乾杯の発声で開宴。和やかな雰囲気のもとで懇親を深めた。歓談中に総務特別委員会主催のアトラクション「テーブル対抗クイズ大会」を行い、会場が大盛り上がりとなった。その後、「増強運動支部表彰」、「印刷経営革新塾のPRタイム」が行われた。山本素之副理事長の中締めの挨拶(ペーパーサミット、ペーパーサミットジャパンの告知を含む)でお開きとなった。

報告／大印工組事務局

知る・使う・提案する！ 印刷業界の 次世代AIガイド

Vol.2

生成AIと上手に付き合うコツ！

今回は「生成AIとは何か？」をテーマに、その基本的な仕組みと便利さをご紹介します。今回は実際に生成AIへどんなお願いをすればよいのか、具体的な「会話のコツ」をお伝えする。

生成AIへの指示のことを「プロンプト」と呼ぶ。難しそうに聞こえるが、要は「お願いの仕方」のことだ。コツはたった3つ。①誰に向けた内容か ②どんな目的で使うか ③文字数やトーンなどの条件、この3点を伝えるだけでよい。

たとえば「印刷会社の営業担当として、新規顧客へ送る挨拶メールを200字で丁寧な口調で書いて」と入力してみよう。驚くほど実用的な文章が返ってくるはずだ。最初から完璧を求めず「たたき台を作ってもらい、自分で手直りする」感覚で使うのが、長続きのコツである。

もうひとつ大切なのは「対話を重ねる」ことだ。一度の指示で満足できなければ「もう少し短くして」「もっとやわらか

い表現にして」と追加でお願いすればよい。優秀なスタッフに仕事を頼む感覚と同じで、やり取りを重ねるほど望む結果に近づいていく。

「AIに仕事を任せると、自分のスキルが落ちてしまうのでは？」という声も耳にする。しかし考えてみてほしい。電卓が普及しても、数字に強いビジネスパーソンの価値は下がらなかった。AIも同じで、使いこなす人ほど本来の強みをより発揮できるようになる。

印刷の歴史を振り返れば、写植からDTPへと「道具」が変わるたびに、現場のプロたちはその技術を取り込み、表現の幅を広げてきた。生成AIもまた、その延長線上にある「道具」のひとつだ。

ある印刷会社の営業担当者はこんな体験を話してくれた。「得意先への年賀状の文面、毎年同じような内容になって困っていたんです。試しに『和菓子屋さんへ送る温かみのある年賀状を100字

で』とお願いしたら、季節感のある文章がすぐ出てきて。少し手を加えるだけでそのまま使えました」。

まずは日々のちょっとした文章仕事から試してみることが大切だ。慣れてくれば応用の幅はどんどん広がっていく。今日の業務でまずひとつ、気軽に使ってみてほしい。

今回は実際の印刷業務でどんな場面に生成AIが役立つのか、具体的なシーンを交えてご紹介する。どうぞお楽しみに！

報告 | 株式会社大塚商会 MMオペレーション部
和田 誠司 06-6456-2660



Partnership Member's

大印工組パートナーシップ会員の企業をご紹介します

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
FUJIFILM Business Innovation Japan Corp.

Company Information

📍 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町3-6-5 銀泉備後町ビル12F
☎ 06-6221-7044 🌐 <https://www.fujifilm.com/fb/ja/about/corporate-fbj>



AIと表現力の進化が拓く、サステナブルな印刷の未来

「21世紀のいい会社」とは何か。この問いに対し、私たち富士フイルムビジネスイノベーション株式会社は、「社会に価値を提供し続ける企業」と考えている。単なる製品提供にとどまらず、お客様の課題解決を通じて、業界と社会の持続的発展に貢献していくことが求められていると感じている。

印刷業界においても、その役割は大きく変化してきた。従来の「効率よく刷る」時代から、「情報の価値を最大化する」時代へと移行しつつあり、紙とデジタルは対立するものではなく、互いに補完し合う存在となっている。その中で重要となるのが、サステナブルな産業としての進化である。オンデマンド印刷による廃棄ロス削減や、パーソナライズによる高付加価値化は、環境と収益性を両立するうえで欠かせない視点である。

こうした変化に対応するため、当社はデジタル印刷の高度化に取り組んでいる。近年では、AI技術を活用した自動化・効率化機能が着実に進化している。従来は熟練オペ

レーターの経験や勘に依存していた色調整や品質管理についても、AIが最適化を支援することで、特定の人材に依存することなく、安定した高品質印刷を実現しやすい環境が整ってきている。これにより、人手不足という課題への対応と、生産性向上・業務負荷軽減の両立が期待できる。

また、表現力の進化も大きなポイントである。特殊トナーのラインアップにグリーンが加わったことで、従来のCMYKでは再現が難しかった鮮やかな色域の表現が可能となった。RGBデータに近い色再現を実現することで、デザインの意図をより忠実に印刷物へ反映することができる。さらに、自動分版やプレビュー機能といったサポート機能も充実しており、特殊トナーを比較的容易に活用できる環境が整っている。これにより、クリエイティブの幅は一層広がっていくと考えている。

これらの技術革新は、単なる効率化や高画質化にとどまるものではない。印刷会社が

新たな価値を創出し、顧客へ提案できる領域を広げることにつながっている。すなわち、印刷業は「製造業」から「価値創造業」へと進化し続けている段階にあると言えるだろう。

環境への取り組みについても、省エネルギー設計や資源循環の推進など、持続可能な社会の実現に向けた対応を進めている。生産性向上と環境配慮を両立させることが、これからの印刷産業においてますます重要になると考えている。

今後、業界がさらに発展していくためには、企業単独での取り組みに加え、組合やパートナーとの連携が重要である。当社としても、機器や技術の提供にとどまらず、皆様とともに新たな価値を創出する「共創パートナー」であり続けたいと考えている。

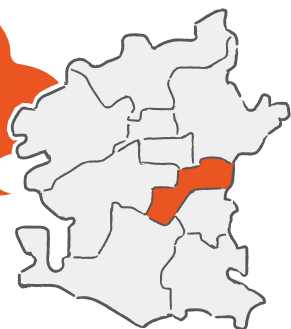
「21世紀のいい会社」とは、変化に向き合いながら、社会とともに成長し続ける企業である。私たちはこれからも、印刷業界の未来を支える存在として、皆様とともに歩んでいきたい。

📎 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 GC営業統括部 GC販売推進部 マーケティンググループ 板津薫

ウチのご近所のええところを紹介します

アイラブ支部マップ

天親
支部



歴史にふれる「四天王寺さん」



私たちの天親支部エリアには、誇り高い地域の魅力がたくさん詰まっています。今回は、同じ組合員の皆さんに私たちの地元を紹介し、この地域の魅力をさらに知っていただきたく、「天王寺」ぶらぶら散歩、第2弾でございます。

私たちの地域には今から1400年前に建立された四天王寺があります。皆さん、親しみを込めて「四天王寺さん」と呼んでおります。それだけ親しみのある「お寺さん」なので、天親支部の皆さんの中には小さい頃の思い出として、お寺の中にある「亀の池」にまつわる逸話があるのではないのでしょうか(笑)。久しぶりに訪れた池には、天気が良かったので気持

ちよさそうに甲羅干しをしている亀さんを見ることができ思わず笑みがこぼれました。また訪れた日は「十三参り」の日でしたが、「お大師さん」の日など、いろいろな出店もたくさんあり、きっとお楽しみいただけるかなと思います。端から端まで歩くと「野沢菜原種旅の起点」の碑があり、新しい発見に触れることが多いお寺さんでもありますので、皆さま一度訪れてみてはいかがでしょうか。

歩き疲れたら名物の「釣鐘まんじゅう」をベンチでお茶を飲みながらいただきほっと一息。普段とは違う緩やかな時が流れる一時を味わうにはぴったりの場所だとお薦めしたい「四天王寺さん」でございます。

ぶらぶら歩いて行くと前方に「あべのハルカス」が見え、現代と過去の間に立つと、時の流れを感じる不思議な感覚になります。先に歩を進めたら地下に広がる昭和を感じる「アベノ地下センター」を訪れ、「あべとん」のお好み焼きでもいかがでしょうか。甘いものは「マエダ」がありますし、休日でしたら昼からちょっと一杯を楽しむ店もごございますから、忙しい毎日の中でたまにはゆっくり、のんびりした休日を過ごすのも一考かなと。

最後に、天親支部は多彩な魅力を持った素敵な場所が多い地域です。ぜひ、皆さんもこの地域の素晴らしさを再発見し、歴史を楽しむ旅に出掛けてみてはいかがでしょうか。

(文・写真: 和光製版(株) 西岡美雪)



印刷産業の礎を築いた先人たちが眠る

高野山印刷産業人物故者納骨塔 永代供養

祈りの地、永眠の地として

自宅供養中の方や永眠の地をお探しの方、ご家族のご要望にもお応えする納骨塔のご紹介と永代供養のご案内です。ぜひお手伝いさせてください。

従業員のご家族を含め広くお世話

高野山大霊園に建立された印刷産業人物故者納骨塔は昭和45年、大阪で開催された万国博を契機に大阪印刷関連団体協議会所属各団体の組合員(事業主)と従業員約5,000名の篤志家の浄財によって建立されました。それゆえ大阪印刷関連団体協議会傘下各団体の企業経営者をはじめ従業員家族を含めてどなたでも永代供養することができます。

毎年8月に高僧による法要

永代供養していただきますと、毎年8月に高野山真言宗金剛峯寺の高僧多数により厳そかに大法要が営まれます。大霊園の納骨場内は相当余裕もできておりますので、印刷関係物故者はお一人でも多く永代供養されることをおすすめいたします。

お問い合わせ・お申し込み

高野山印刷産業人物故者納骨塔奉讃会事務局
大阪市都島区中野町4-4-2 〒534-0027 (大阪府印刷工業組合内)
電話 (06)6353-3035 FAX (06)6352-2360
※本年度慰霊祭は8月22日(土)です。

永代供養の順序	お申し込みから参詣まで
永代供養される人(依頼人)	①永代供養人の勤務する会社に申し出て永代供養依頼書(4枚複写)を受け取る ②永代供養依頼書に詳細記入
永代供養人の勤務する会社(事務所)	③勤務先の永代供養同意を得て印を受ける
事務所の加盟する団体(組合)	④事務所所属団体(組合)の承認を受け永代供養依頼書に印を受ける ⑤団体(組合)では、承諾印を押して第1票を残し、永代供養人に3枚を返却 依頼書第1票組合保存
高野山印刷産業人物故者納骨塔奉讃会	⑥永代供養人は、依頼書に永代供養志納料金30,000円を添え、高野山印刷産業人物故者納骨塔奉讃会に持参 ⑦奉讃会では、永代供養料の受領書と骨壺をお渡しし、依頼書の第2票を残し2枚を返却 依頼書第2票奉讃会保存
高野山霊園管理事務所	⑧奉讃会から受けた骨壺に故人の遺骨、または遺品を納め、高野山霊園管理事務所に持参 ⑨霊園管理事務所では、過去帳(永代供養者台帳)に記名し、納骨塔の扉を開いて骨壺を安置し、その後ねんごろな供養のお経を上げていただく ⑩永代供養人は、焼香し、お供物をいただく ⑪依頼書の第3票は霊園管理事務所に保管され、第4票が永代供養人に返却されます ⑫第4票の永代供養済証は大切に保存してください ⑬永代供養が終われば、本山や奥の院などを参詣して下山してください 依頼書第3票霊園保存
永代供養	1柱 30,000円(全骨/分骨) (遺骨に限らず、遺品でも永代供養いただけます。)



1973年(昭和48年)に建立された「印刷産業人物故者納骨塔」



事業報告〔本部〕

広報・サステナビリティ拡大委員会 4/3(金) 18:00～	パートナーシップ特別委員会 4/16(木) 18:00～	組織活性化委員会 4/22(水) 18:00～
総務特別委員会 4/7(火) 18:00～	監事会 4/17(金) 11:00～	協創特別委員会 4/23(木) 18:00～
大青協定例会 4/7(火) 18:30～	地域共生委員会 4/21(火) 18:30～	ペーパーサミット事前説明会 4/24(金) 18:30～
大阪印刷関連団体協議会監事会 4/15(水) 14:30～	㈱大阪印刷会館取締役会 4/22(水) 14:30～	
㈱大阪印刷会館監査役会 4/15(水) 15:00～	理事会 4/22(水) 16:00～	

事業報告〔支部〕

南親支部 総会 4/4(土)・5(日)	天親支部 生成AI実践事例発表会 4/14(火) 16:00～	堺支部 総会 4/18(土)
北親支部 役員会 4/9(木)	北支部 総会 4/17(金)・18(土)	天親支部 班長会 4/24(金) 11:00～

事業予定〔本部〕

大青協定例会 6/2(火) 18:30～	経営革新委員会 6/8(月) 18:00～	近畿印刷工業会理事会 6/25(木) 18:00～
広報・サステナビリティ拡大委員会 6/4(木) 18:00～	組織活性化委員会 6/11(木) 18:00～	近畿地区印刷協議会総会 6/26(金) 13:00～
支部対抗ゴルフ大会 6/6(土)	大阪印刷関連団体協議会総会・祝賀会 6/12(金) 17:00～	
総務特別委員会 6/8(月) 18:00～	地域共生委員会 6/16(火) 18:30～	

事業予定〔支部〕

東和支部 三役会・役員会 6/18(木)	東和支部 三役会 7/8(水)
-------------------------	--------------------

※記載の事業予定については、変更もしくは中止になる場合があります。
※時間等の記載のないものは未定です。

インフォメーション

〔新入会員〕 ㈱文誠堂印刷所(生栄支部) 猪俣裕紀子 代表取締役 〒544-0002 大阪市生野区小路1丁目17番8号 TEL:06-6751-2252/FAX:06-6754-8632 ㈱秀永(東大阪支部) 藤原規照 代表取締役 〒578-0951 東大阪市新庄東6番3号 TEL:06-6748-1008/FAX:06-6748-1018	〔移転〕 博文堂印刷(生栄支部) 〒581-0075 八尾市渋川町1丁目3番29号 TEL:072-973-9955/FAX:072-973-9957 ㈱コンパス(北支部) 〒530-0045 大阪市北区天神西町7-11 TEL&FAXは変更ございません。
〔代表者変更〕 八尾印刷(東和支部) 新社長に八尾正博氏が就任	〔訃報〕 戸谷禎克氏(生栄支部) ㈱サンセイ(相談役) 4月15日死去91歳

生栄支部 総会 4/21(火) 18:00～

令和7年度、生栄支部総会が、令和8年4月21日(火) 株式会社TOWAにおいて18時より執り行われた。令和7年度会計報告、令和8年度予算案について話し合いが行われた。また、松原支部長(松原印刷)が退任し、新たに松井新支部長(サンエス印刷所)が承認された。

総会後、今里「万宝家」に移動し懇親会を開催した。まず始めに、3期6年支部長を務めた松原支部長を皆で労った。その後、資材値上げ



や中東情勢の長期化による業界影響などの情報交換、今後の支部運営など歓談し和気



あいあいのなか閉会した。

報告／㈱プロスキャン 原田充規

生栄支部長 新任のご挨拶



少数精鋭ながら組合活動の活発な支部

生栄支部支部長 松井 和英 ㈱サンエス印刷所 取締役社長

生栄支部は組合員13社の少数精鋭支部であり、役員を中心に活気ある活動を展開している。組合活動や交流事業にも一体感をもって取り組み、支部員同士の強い結びつきが特徴である。今後は総会旅行や支部コンベンなどの行事にて、さらなる交流促進と結束力の向上を目指し、少数精鋭ながら、どの支部よりも活発で高みを目指す関係性でつながった支部となっていきたい。

天親支部長 新任のご挨拶



「お互い様」の精神で助け合い、ともに未来を見据えていく

天親支部支部長 西岡 美雪 和光製版(株) 専務取締役

この度、組合の中でも一番多い企業数を抱える天親支部の支部長に就任しました西岡でございます。現代は「共存」というと難しく感じますが「お互い様」の精神が薄れているのを感じる今日この頃であります。競争社会というのは当たり前ではありますが、知らないうちに自分で自分の首を絞めているような現状を、そろそろ社会全体で認識する必要があるのでは?と感じます。そんな社会の中での「組合」の役割、「組合に入ってよかったです」そんな声を聞かせてもらう瞬間が私は一番嬉しく思います。

「皆、誰かの役に立つ」これが根本的な私の考えで、一人ではできないことも多くの力が集まれば何かできるかもしれない。それこそ「組合」の原点であると、先ずは助け合い、お互い徳を得、情報も共有し未来を見据えていく、厳しい現実だからこそ目先にとらわれがちですが、次の世代に「いい仕事だよ」とバトンを渡せることができる業界造りの役割を微力ではございますが、皆さまとともに担っていきますよう努めさせていただきます。

大青協議長・常務理事 新任のご挨拶



つながりと未来への架け橋

大阪青年印刷人協議会 議長 黒木 昭博 ㈱ラフコネクト 代表取締役

印刷業界が大きな転換期を迎える中、私はこの変化を新たな価値創造の「追い風」と捉えています。本年度は「つながりと未来への架け橋」をテーマに掲げ、「会員相互」「現在と未来」「地域と業界」という三つの架け橋を意識した活動を展開してまいります。

志を同じくする若きリーダーたちの熱量を強みに、本音で語り合える強固なネットワークを築き、明るい未来を切り開きます。大青協の活動にご協力よろしくお願いします。



広報委員長 谷口 和宏
谷口印刷紙業(株) 代表取締役

繋がり、価値を発見する「場」

広報委員会では印刷業界の仲間が繋がり、価値を発見する「場」として「PRI・O」「ホームページ」「インサツグラム」の3つの媒体を活用して情報発信を行ってまいります。これらは急速な社会変化に直面する私たち印刷関連企業にとって、持続可能な会社経営を目指すとともに印刷業界の価値を高める重要な取り組みだと考えております。

PRI・Oでは各委員会の活動や企業訪問、労務・税務・法律のような専門知識を、タイムリーで顔の見える「生きた情報」として発信することで組合員同士が繋がり、各社の経営に役立つ情報を共有してまいります。ホームページは誰でもいつでもアクセスできる「窓口」として内外からの問い合わせや相談の受け皿となり、蓄積された情報を必要な時に閲覧できるデータベースの役割も果たします。

インサツグラムは速報性を持つ「コミュニケーションツール」として幅広い世代に向けて発信することにより、印刷業界のブランディング(イメージ・認知度向上)を図ることができます。

PRI・Oは「繋がり」と知識共有を、ホームページは「窓口」と情報蓄積を、インサツグラムは「コミュニケーションとブランディング」を、それぞれの媒体の強みを連携させることで単なる情報伝達ではなく、印刷業界の発展に寄与することができればと考えております。今後とも情報提供や記事の寄稿につきまして、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和8・9年度 組織・委員会機構図はこちら →



色校正が変わります。

次世代デジタル印刷機

Jet Press 750S

2022年9月より稼働中

作道印刷株式会社

〒578-0921 大阪府東大阪市水走 1-12-20
TEL.072-963-6339 FAX.072-963-4013



heart

人から人へ心を伝えるハート紙製品



- ・封筒・名刺・はがき
- ・カード・賞状・カレンダー
- ・紙製クリアファイル
- ・ワックスプラス
- ・包装資材・パッケージ

持続可能な社会の実現に向けて、再評価されている紙素材。事務用紙製品だけでなく、包装資材や商品/パッケージなどあらゆるものの“紙化”もぜひご相談ください。

ハート株式会社

www.heart-group.co.jp



印刷関連機械を売るなら“DAITSU”へ!!

遊休機械を現金にて高価買取致します！
買取が出来ない機械につきましても、ご希望にあわせて処分も可能ですのでお気軽にご相談下さい。

《買取査定 対象機械》
オフセット印刷機 / シール印刷機 / フォーム印刷機
CTP / 断裁機 / 製本機 / トムソン機 / 製袋機 など



大通機械販売株式会社 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東 2-1-33
TEL:06-6747-3561 FAX:06-6747-3591 MAIL:e-mail@dait-su-m.co.jp

www.dait-su-m.co.jp

経営者／管理者様 必見！

現場目線のご提案なら誠伸商事へ

作業時間大幅カット 利益率大幅改善



D-Pos(後工程効率化システム)省力化・省人化をご提案します



Logi-Stream / 配送リスト自動組み替えソフト



SEISHIN 誠伸商事株式会社

www.seishin.co.jp 〒145-0062 東京都大田区北千束 2-9-10

■北関東 ■静岡
■新潟 ■東北

お客さまの「踏み出す力」になる。

価値ある情報、豊富な知見、確かな技術で。

一緒に答えを導き出す会社へ。

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

LITHRONE GX/G EX Edition



生産性向上 サステナブルな印刷



Photo: GLX-740A
※写真のモデルはオプション仕様を含んでいます。

KOMORI

株式会社 小森コーポレーション
〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋3-11-1

木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと文化の発展に貢献します。



日本製紙株式会社

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com



各種無料相談

開催場所
大阪印刷会館

予約制
オンライン(Zoom対応)OK

お申し込み・お問い合わせはこちら

大印工組事務局 06-6353-3035
info@osaka-pia.or.jp

労務
相談

■ストレスチェックについて ■残業時間 ■就業規則 など

6/12(金)・6/25(木)・7/10(金)

10:00~12:00/13:00~16:00
時間 1人 50分 定員 各開催日先着5名
申込締切 開催日の1週間前

顧問
中尾文彦先生

税務
相談

■消費税 ■税金 など

6/12(金)・7/10(金)・8/7(金)

13:00~17:00
時間 1人 60分 定員 各開催日先着4名
申込締切 開催日の2日前

顧問
森田昌宏先生

法律
相談

■著作権 ■著作権 ■事業承継・廃業支援 など

6/24(水)・7/15(水)・8/19(水)

13:00~17:00
時間 1人 60分 定員 各開催日先着4名
申込締切 開催日の2日前

顧問
宮崎信二郎先生

※状況により開催を中止させていただく場合があります。予めご了承ください。

貴社のDMを同封、組合員企業に届けます！

大印工組 広報誌

・PRI・Oの「パケットサービス」

1点 20gまで @100円 × 組合員数 → 税込 約50,000円
21~100g @200円 101~200g @300円

お問い合わせ先 大印工組 事務局 TEL.06-6353-3035

〈納入規定〉
A4サイズ以下 + 1点 200g以内
※複数枚のDMであってもホチキス止め
などしてあれば、1点とみなします。
※内容等によっては、お受けできない場合
があります。

超!高速

特許取得
オリジナルの先端技術！
オフセット輪転機で抗菌加工

期待を
超える！

印刷の枠を
超える！

想像を
超える！

SIAA
ISO 22196
抗菌加工

株式会社 高速オフセット
KOUSOKU OFFSET CO.,LTD.

大阪市西区北堀江2丁目5番24号 KOUSOKU堀江ビル
Tel.06-6556-6500
詳しくはWebサイトを▶ 高速オフセット 検索 ▶

ライメックス
LIMEXシート の取り扱い開始！！

LIMEXシートとは・・・
石灰石から作られた
耐水性、耐久性に優れた
環境にやさしい新素材

SDGs・減プラに対応

名刺、ポスター、ラベル、タブ、メニュー
地図、POP、クリアファイル
電飾フィルム、横断幕、折箱などに最適

レジ袋、ショッパー、ごみ袋も受注生産
にて対応可能

KAMIX
KAMIX 株式会社 (カミックス)

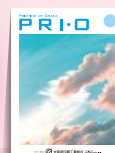
高井田支店：〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通 6-2-10
TEL：06-6785-1036 / FAX：06-6785-1039

組合員[約400社]や外部に向けて自社の魅力をアピール！

PRINTING OF OSAKA

PRI・O に広告を出しませんか？

\\ 随時受付中 //
06-6353-3035
大阪府印刷工業組合
担当：大喜多まで



今月号の
用紙

シルバーダイヤS

(塗工紙・104.7g/m² A/Y〈57.5〉)(表紙・本文とも)

当社A2マットコート紙の関西以西限定銘柄です。伝統技術と長年の経験を継承し、お客様の声を取り入れながら造り上げた、西日本で最も品質に定評のあるマットコート紙です。

用紙提供：日本製紙(株) 関西営業支社 印刷用紙グループ TEL.06-6363-7184

デザイン・制作：(有)ティーズ／印刷：(株)ハラタ

Horizon Change the focus

小・中ロット向け無線綴じシステム MiniCABS

小ロット生産から中ロット生産まで幅広い生産に対応

自動化による優れた操作性と大型製本機に匹敵する性能で製本品質の安定化を実現し、
多様化する市場のニーズに柔軟に応えます



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

fb.me/Horizon.sns

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大蔵町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

あなたのための、DXでありたい。

DXという言葉がなかった時代から、

デジタルでビジネスの仕組みを変えてきた大塚商会。

テレワークやAIの活用、紙文書の電子化など、

新しい働き方を時代に先駆けて自ら取り入れ、

体感し、お客様に提案してきました。

あなたのビジネスの現場で、

ほんとうに役に立つ生きたソリューションを。

それが、大塚商会のめざすDXです。



あなたのビジネスに、大塚商会の提案力と対応力を。
https://www.otsuka-shokai.co.jp/dx/



大塚商会

株式会社大塚商会 東京本社：〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡